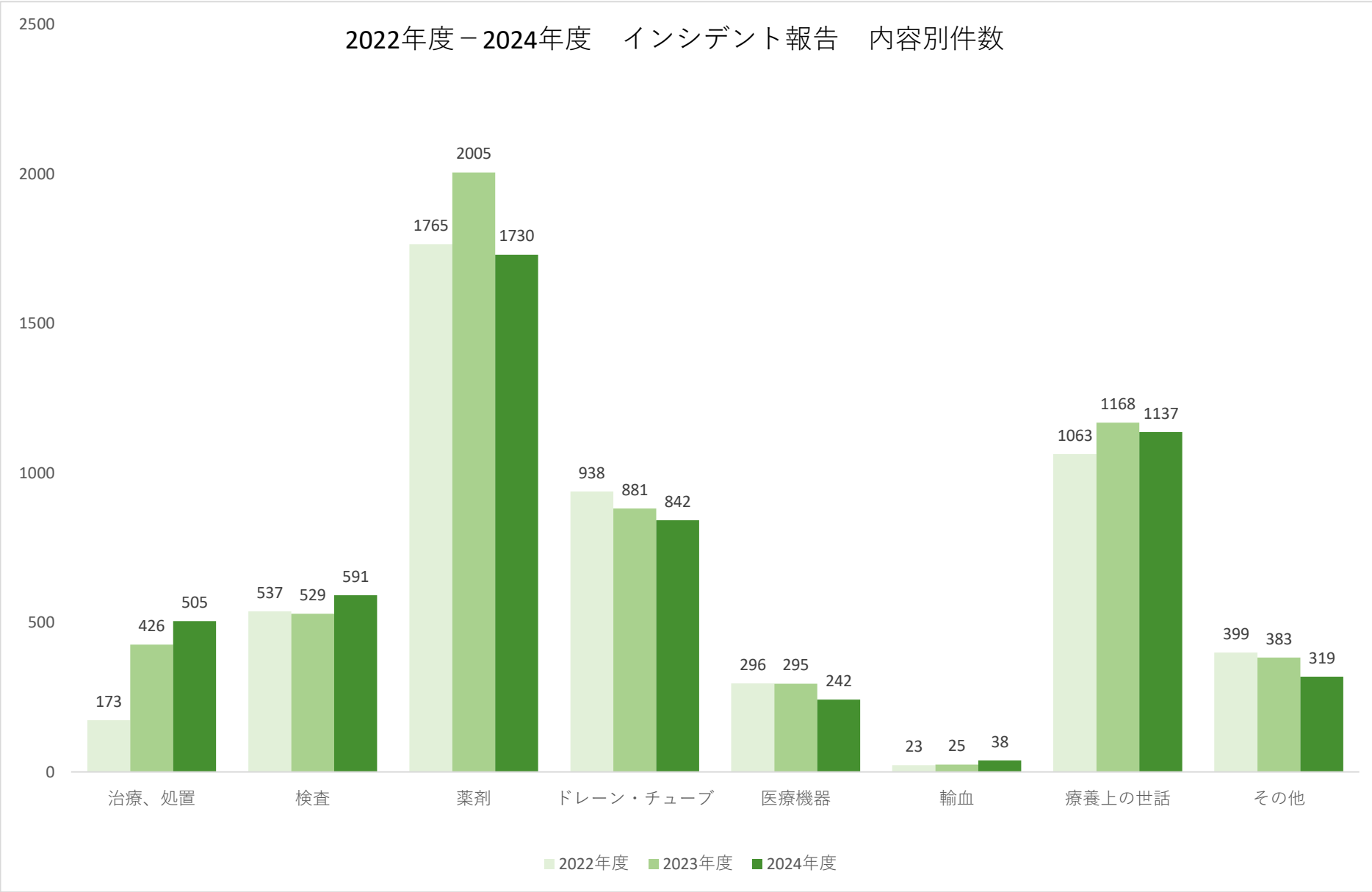




【指標の説明】

インシデント報告、内容別の件数です。
薬剤に係るインシデント報告が多く見受けられますが、全てのインシデント報告は「未然に防げた」報告が多く含まれている
ため、「インシデント報告件数の多さ」＝「危険」というわけではありません。
むしろ誤投薬や誤飲を未然に防ぎ、患者さんには正しい薬が届いています。各病棟で業務に当たる薬剤師もいるため、患者さんに
薬剤が渡るまでに多くの眼でチェックしています。
療養上の世話についても、看護師が気付いた点やこのまま進めると危険であるという行為について報告を上げ、関係者に周知し
注意喚起を促す材料にもなり得ています。

一般に全インシデント報告数は、病床数の5倍以上が望ましいと言われており、当院は5,000件以上の報告数で基準数は
超過しています。（2024年度 年度報告総数：5,404件）